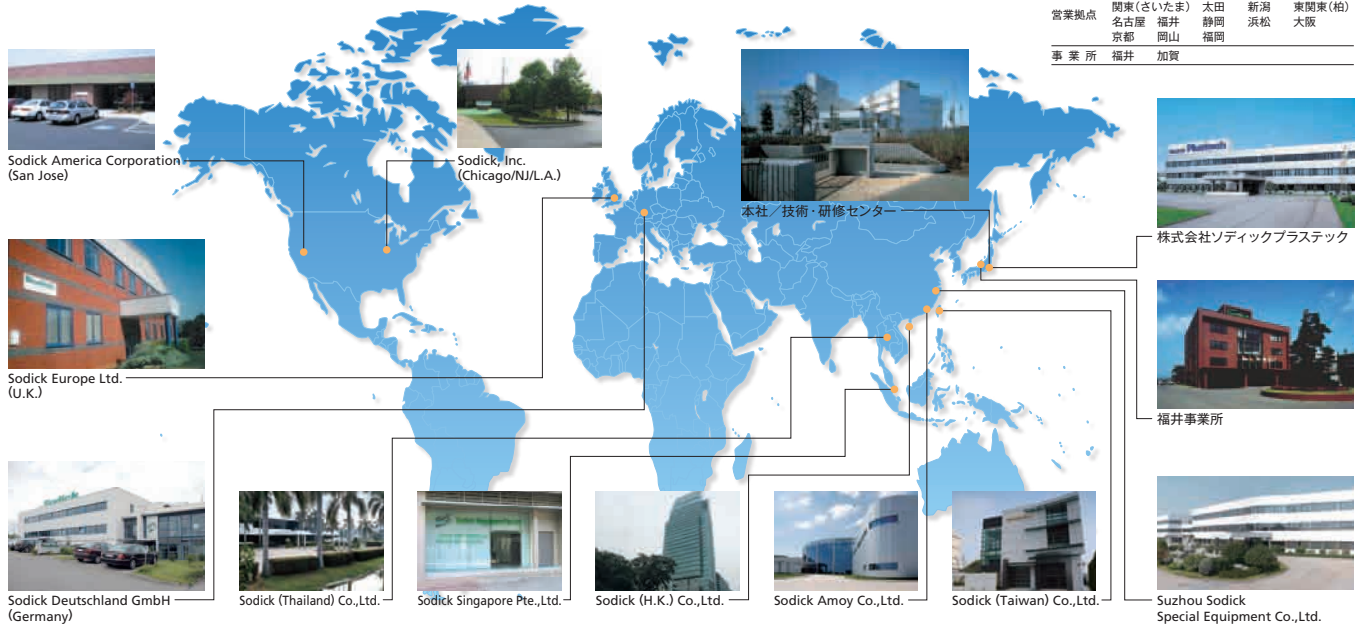


世界の主要拠点 (平成19年9月30日現在)



# Business Report

ソディックホームページのご案内  
<http://www.sodick.co.jp/>



株主の皆様からの声をお待ちしております。

当社では、株主の皆様からのご意見・ご質問をお受けしております。  
 お気軽に下記のメールアドレスまでお寄せください。

メールアドレス [ir@sodick.co.jp](mailto:ir@sodick.co.jp)

## Sodick 株式会社 ソディック

〒224-8522 横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号  
 TEL: 045-942-3111 FAX: 045-943-5835  
 (証券コード: 6143)



本誌は、古紙配合率100%再生紙と、米国大豆協会認定の大豆インキを使用しています。

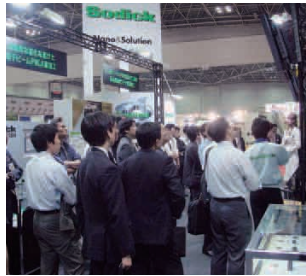
第32期 中間事業報告書  
 平成19年4月1日～平成19年9月30日

## Sodick 株式会社 ソディック

## 展示会

## 2007自動車部品生産システム展に出展

6月13日～16日に東京ビッグサイトで行われた「2007自動車部品生産システム展」に出展し、自動車産業に貢献する新製品・新技術を展示、紹介してまいりました。



## 展示会

## メカトロテックジャパン2007に出展

10月17日～20日にポートメッセなごやで行われた「メカトロテックジャパン2007」に出展し、SGF電源などソディックの「ものづくり大革命」を紹介いたしました。



## 新製品

### 世界初! 荒から仕上げまでの工程を、電極1本で加工! 新製品「SGF電源: エスジーエフ電源」

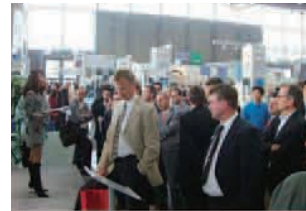
形彫り放電加工でのグラファイト電極において、その優位性である高速加工性能を最大限に発揮しつつ、電極消耗を限りなくゼロに抑制することを実現いたしました。このことから、荒から仕上げまでの工程を電極1本のみで加工することが可能となり、世界で初めて、超無消耗・高速電源回路「SGF電源」の製品化に成功しました。



## 展示会

## エモ・ハノーバー2007に出展

9月17日～22日の6日間、ドイツ・ハノーバーで開催された、金属加工のための世界最大の国際見本市である「エモ・ハノーバー2007」に出展いたしました。



## モバイルサイト

## ソディック モバイルサイトがオープン

5月21日にモバイルサイトをオープンしました。展示会情報・サポート情報・ソディック製品にまつわる最新情報等を随時更新し、お届けします。



URL : <http://www.sodick.co.jp/mobile>

## 株主の皆様へ Message

# Total Manufacturing Solution

## 創造 実行 苦労克服により ものづくりに貢献するという思い

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当中間期の日本経済は、原油価格の高騰や米国のサブプライムローン問題の影響など景気の先行きに不透明感が見られました。

このような環境のもと当社グループは、国内においては工作機械の需要が依然として低迷するという厳しい状況に置かれたものの、海外においては積極的な営業活動を展開し、中華圏や欧州において業績を伸ばしました。また、当社は活発な事業展開を営業活動だけにとどまらず、放電加工に革命を起こす「SGF電源」を開発するなど研究開発分野においても繰り広げました。

また、生産面においても大きな進展がございました。新たな生産拠点として、中国・福建省に建設を進めておりました廈門（アモイ）工場が遂に完成し、9月9日には無事竣工式を行うことができました。この工場の完成、そして稼動によって旺盛な世界需要に応えるとともに、更なる品質向上とコスト低減を追求することが可能になりました。

これからも“ものづくりに貢献するソディック”として、社は「創造」「実行」「苦労克服」の初心を忘れることなく、開発・生産・販売・サポートと全てにおいて世界一の放電加工メーカーを目指し、邁進していく所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 塩田 成夫

## CONTENTS

Sodick Corporate Highlights .....	1	中間連結財務諸表(要旨) .....	7-8
株主の皆様へ .....	2	株式情報 / 株式分布 / 株価・出来高の推移 .....	9
当中間期の業績 .....	3-4	会社概要 / 役員 / 株主メモ .....	10
特集 ソディックの成長戦略 .....	5-6		

### 当中間期の概況

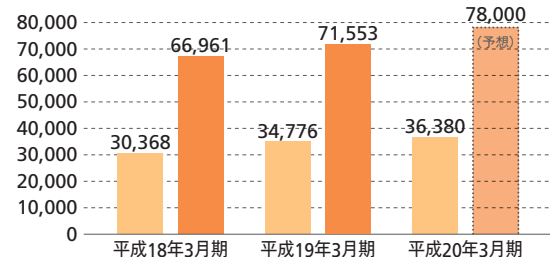
当社グループを取り巻く経営環境においては、国内の工作機械・射出成形機の需要が低迷しましたが、海外市場は、特に中華圏、欧州市場の伸長に支えられ好調に推移しました。このような環境の下、当社グループは積極的な活動を展開しました。工作機械事業においては、国内市場が弱含みに推移するなど懸念材料があったものの、画期的な新製品「SGF電源」の開発、中国・福建省廈門市に生産拠点の新設と幅広く活動しました。産業機械事業においても地域によって需要にばらつきがありましたが、R&Dセンターを建設し、研究・生産双方を強化しました。また、新規事業として食品機械事業に参入するなど、新たな市場の開拓にも努めました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は前年同期比16億4百万円増(4.6%増)の363億80百万円を達成いたしました。また利益面では、営業利益は前年同期比7億90百万円減(24.9%減)の23億81百万円、経常利益は前年同期比2億95百万円減(8.6%減)の31億52百万円、中間純利益は前年同期比5億56百万円減(26.6%減)の15億38百万円となりました。

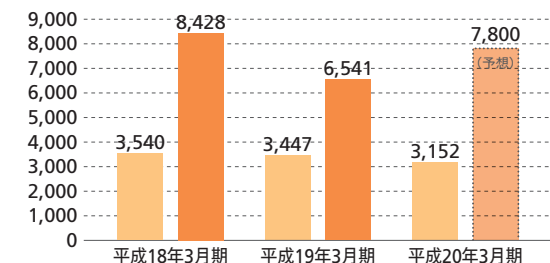
### 連結業績ハイライト

中間期… 通 期…

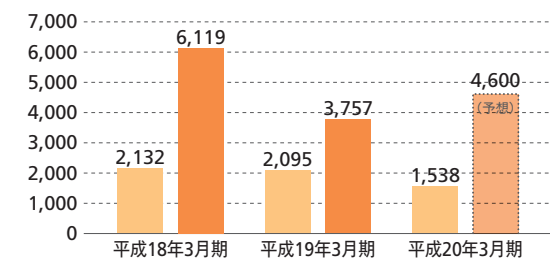
#### ◎売上高 (単位:百万円)



#### ◎経常利益 (単位:百万円)



#### ◎当期純利益 (単位:百万円)



### セグメント別概況

#### 工作機械事業



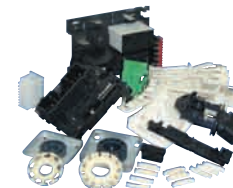
国内においては工作機械の需要が依然として低調なまま推移するなど、事業環境は不安定な状態が続きました。一方、海外においては中国、台湾などの中華圏の販売が好調を維持し、欧州では市場の開拓が進むなど順調に推移しました。上記の結果、当事業の売上高は前年同期比18億40百万円増(7.5%増)の263億25百万円となりました。

#### 産業機械事業



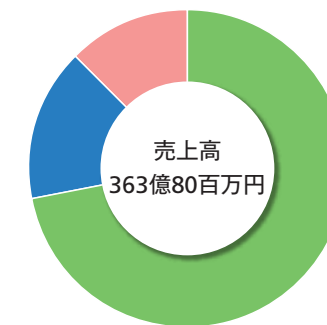
小型精密射出成形機シリーズは、国内においては電子精密部品業界向けの需要は堅調に推移しました。また海外では、台湾向けの需要が順調に推移したものの、韓国向けの需要が低迷しました。上記の結果、当事業の売上高は前年同期比19億67百万円減(25.7%減)の56億75百万円となりました。

#### その他の事業



精密金型・精密成形品の製造販売は需要が減少したものの、大型ファインセラミックスの製造販売、金型生産統合システムの販売は堅調に推移しました。また新たに食品機械の開発製造販売を開始いたしました。上記の結果、当事業の売上高は前年同期比19億31百万円増(72.6%増)の45億90百万円となりました。

#### 売上高構成比



売上高  
363億80百万円

- 工作機械事業 72%
- 産業機械事業 15.5%
- その他の事業 12.5%

### 通期業績予想

今後の見通しにつきましては、米国のサブプライムローン問題の世界経済への悪影響、原油をはじめ鉄や銅などの素材価格の高騰といった懸念材料が存在します。当社グループが属する機械業界におきましても、海外市場においては継続して好調が見込まれますが、国内市場においては工作機械の需要が回復しない可能性もあります。先行きに不透明感がございますが、お客様のご要望にお応えする製品の開発、効率の良い生産体制の実現、地域に適した販売体制の構築に努め、「ものづくりに貢献するソディック」として事業に邁進いたします。

当社グループの通期の業績予想につきましては、連結売上高780億円、連結営業利益78億円、連結経常利益78億円、連結当期純利益46億円を予想しております。

# ソディックの成長戦略 大きく伸びるヨーロッパ市場での取り組みと展望 Part.2

ソディックグループは、昨年の創業30周年をさらなるグローバル化の出発点と位置づけ、「世界シェアナンバーワン」を目指して積極的な展開を図ってまいりました。前回に引き続き東欧を含むヨーロッパ圏の取り組みと今後の展開をご報告いたします。

## 1 欧州市場での成長の背景

当社の欧州における販売体制は、工作機械の本場であるドイツ、オーストリア、スイス、チェコ、スロバキアの5カ国を担当するソディックドイツランドと他のヨーロッパ20カ国を担当するソディックヨーロッパの2つの拠点で行っています。

EU圏内における当社のシェアは、2000年度は5%程度でしたが、2006年度には15%、2007年度末には20%を超えるものと予想しています。このような好調の背景としては、第一に当社製品が高精度であることだけでなく、操作性の良さがお客様に認められていること。さらに、製品の提供だけでなく各国ディーラー、セールスマンが新しい技術やノウハウを当社の側から提案することや精力的なキャンペーン展開にあるといえます。また、このような販売体制を確立するために、ソディックドイツランドとソディックヨーロッパを分け、適材適所に人材を配置できた組織づくりも1つの要因であると考えています。

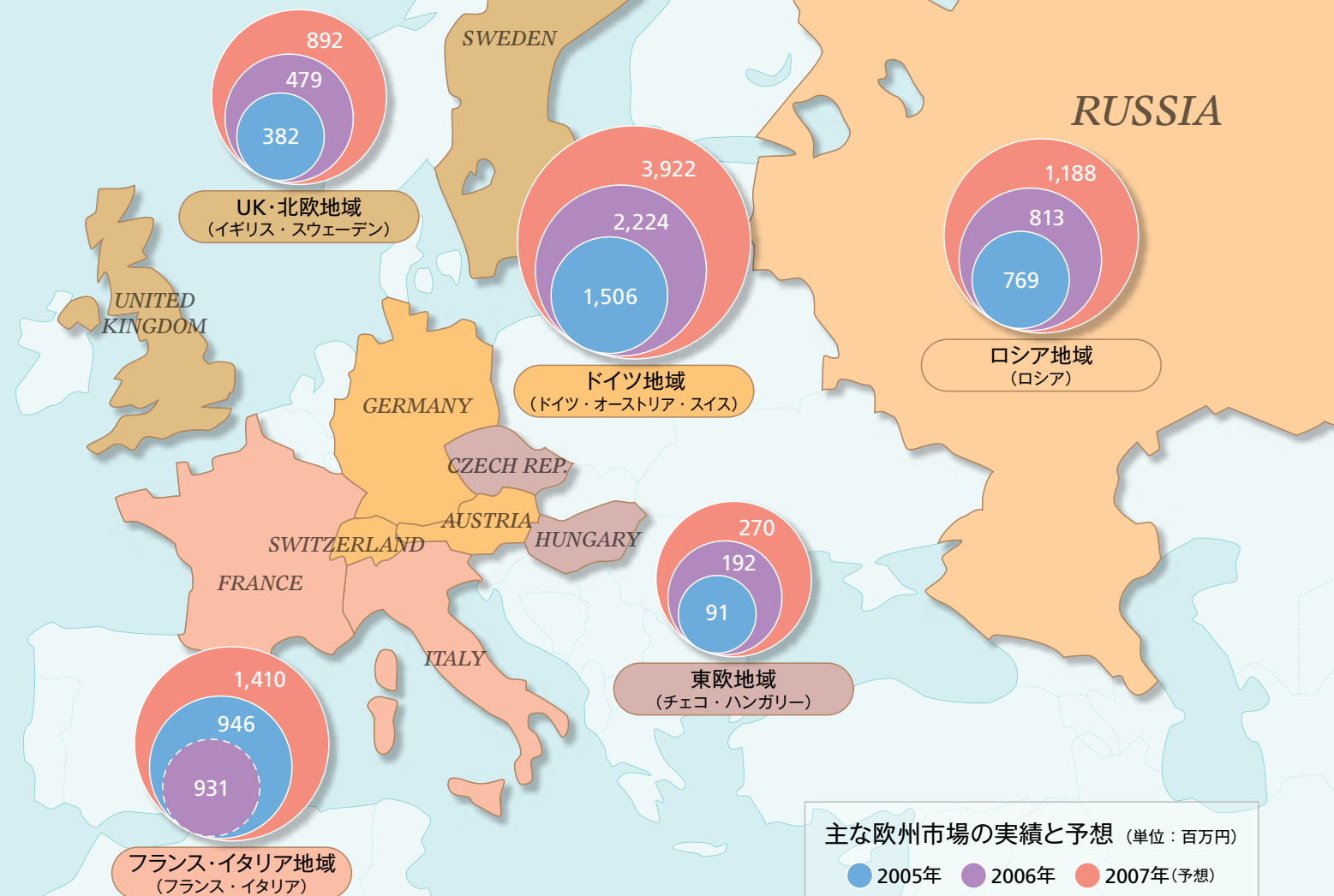
2000年よりヨーロッパでのシェア拡大に本腰をいれ、的確な戦術で成長路線を歩んできましたが、放電加工機世界No.1シェアのアジェ・シェルミー社の牙城を崩せるように、さらなる体制強化に努めてまいります。

## 2 欧州市場での取り組みと今後の見通し

当社の欧州での航空機、医療、精密機器（時計）、自動車等の業界的知名度は揺るぎないものとなってきており、ソディックドイツランド、ソディックヨーロッパあわせて今期末の納入台数は500台（昨年実績350台）、マーケットシェアは20%を目標としています。今後のさらなる成長のため、販売代理店の技術営業の増員とより高度な加工技術要員の増員と育成を平行して行うことでより強固な組織としてまいります。ソディックドイツランドでは、来年早々にもチェコに事務所を開設し営業拠点の強化を行います。また、ドイツとスイスを中心により精密分野のシェア拡大に注力していきたいと考えています。ソディックヨーロッパでは、イタリアをはじめ東欧の営業強化を引き続き行ってまいります。

今後3年間の売上は、10%程度の順調な伸びで推移すると予想しております。

当社は今後も更に販売力を向上させ、世界シェアNo.1を目指し邁進してまいります。



□ 中間連結貸借対照表

科目	期別	前中間期(31期) 平成18年 9月30日現在	当中間期(32期) 平成19年 9月30日現在
<b>資産の部</b>			
流動資産		67,722	71,240
現金及び預金		21,197	21,005
受取手形及び売掛金		25,823	25,603
割賦売掛債権		313	263
たな卸資産		17,734	21,036
その他		3,606	4,281
貸倒引当金		△952	△949
固定資産		27,056	35,407
有形固定資産		20,427	26,889
無形固定資産		1,062	1,906
投資その他の資産		5,566	6,612
投資有価証券		3,776	3,950
長期貸付金		82	196
その他		2,102	2,699
貸倒引当金		△394	△234
資産合計		94,778	106,648

科目	期別	前中間期(31期) 平成18年 9月30日現在	当中間期(32期) 平成19年 9月30日現在
<b>負債の部</b>			
流動負債		40,519	46,136
支払手形及び買掛金		14,552	15,907
短期借入金		17,536	19,554
1年以内償還期限到来の社債		420	420
1年以内返済予定の長期借入金		2,266	3,287
未払金		1,258	1,369
未払法人税等		1,356	1,072
その他		3,129	4,523
固定負債		12,536	14,226
社債		5,300	7,770
長期借入金		5,020	4,063
その他		2,216	2,391
負債合計		53,055	60,362
<b>純資産の部</b>			
株主資本		38,237	40,759
資本金		20,775	20,775
資本剰余金		6,949	6,949
利益剰余金		10,568	13,255
自己株式		△56	△221
評価・換算差額等		542	1,657
新株予約権		—	14
少数株主持分		2,943	3,854
純資産合計		41,722	46,285
負債純資産合計		94,778	106,648

□ 中間連結損益計算書

科目	期別	前中間期(31期) 平成18年4月1日~ 平成18年9月30日	当中間期(32期) 平成19年4月1日~ 平成19年9月30日
売上高		34,776	36,380
売上原価		23,693	25,168
売上総利益		11,087	11,212
販売費及び一般管理費		7,915	8,841
営業利益		3,171	2,381
営業外収益		751	1,195
営業外費用		476	424
経常利益		3,447	3,152
特別利益		134	176
特別損失		51	171
税金等調整前中間純利益		3,531	3,157
法人税、住民税及び事業税		1,533	1,097
法人税等調整額		△389	245
少数株主利益		292	275
中間純利益		2,095	1,538

□ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

科目	期別	前中間期(31期) 平成18年4月1日~ 平成18年9月30日	当中間期(32期) 平成19年4月1日~ 平成19年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,038	2,548
投資活動によるキャッシュ・フロー		△4,734	△6,167
財務活動によるキャッシュ・フロー		11,435	2,875
現金及び現金同等物に係る換算差額		98	149
現金及び現金同等物の増減額		8,838	△593
現金及び現金同等物の期首残高		12,228	21,164
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高		—	250
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額		△54	—
現金及び現金同等物の中間期末残高		21,012	20,820

□ 中間連結株主資本等変動計算書 (平成19年4月1日~平成19年9月30日)

	株 主 資 本						新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	評価・換算差額等合計			
平成19年3月31日残高	20,775	6,949	12,115	△221	39,620	1,422	—	3,331	44,373
中間連結会計期間中の変動額									
剰余金の配当	—	—	△398	—	△398	—	—	—	△398
中間純利益	—	—	1,538	—	1,538	—	—	—	1,538
自己株式の取得	—	—	—	△0	△0	—	—	—	△0
自己株式の処分	—	0	—	0	0	—	—	—	0
株主資本以外の項目の 当連結会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	235	14	522	773
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	1,139	△0	1,139	235	14	522	1,912
平成19年9月30日残高	20,775	6,949	13,255	△221	40,759	1,657	14	3,854	46,285

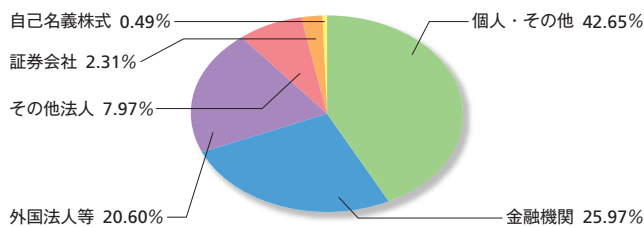
## 株式情報 (平成19年9月30日現在)

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式総数	53,432,510株
株主数	16,960人

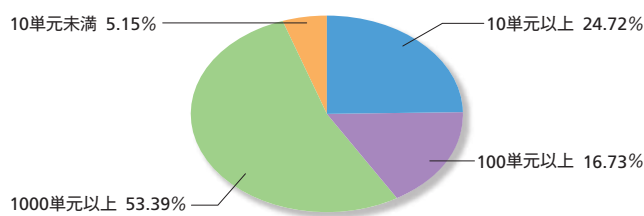
## 大株主

株主名	名寄株式数 (株)	出資の比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,939,900	9.24
日興シティ信託銀行株式会社(投信口)	2,137,000	3.99
株式会社トム	2,024,246	3.78
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,526,400	2.85
バンクオブニューヨーク・ロイヤリティ・パブリック・インベスメント・グループ131800	1,322,800	2.47
ユービーエヌ・ロンドン・アカウント・アドバイザー・リミテッド・クライアント・アカウント	1,146,700	2.14
クレディスイス・グループ・エス・エー・デポジタリー・バンク	1,014,700	1.89
日本証券金融株式会社	959,200	1.79
株式会社三井住友銀行	850,000	1.59
ザチエスマン・ハットバンク・エヌ・エイ・ロンドン・エス・エル・オムニバス・アカウント	802,800	1.50

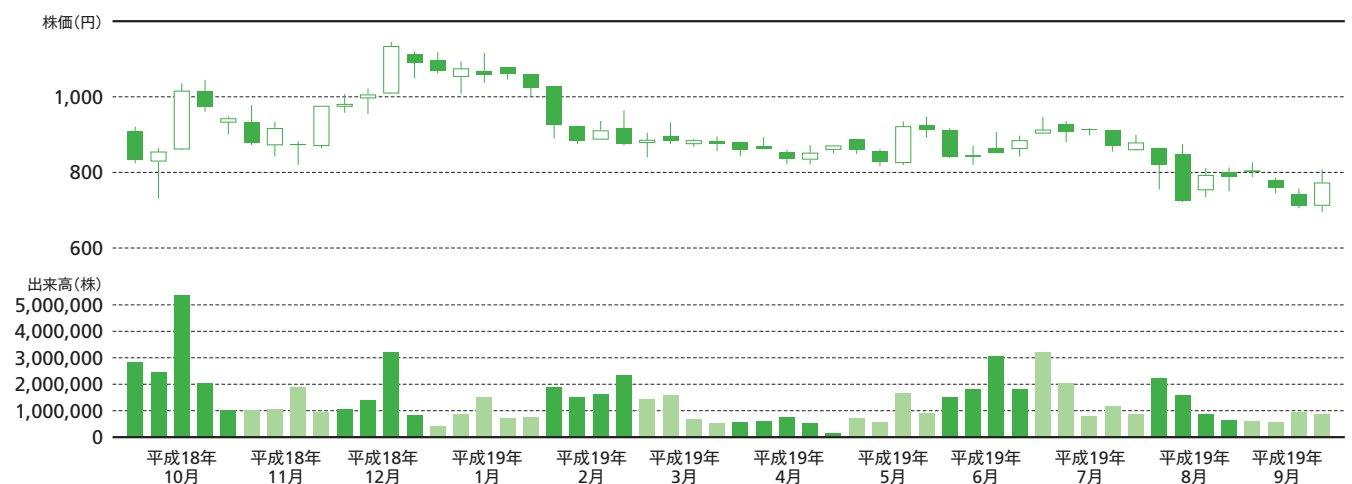
## 所有者別株式分布状況 (平成19年9月30日現在)



## 所有株式数別株式分布状況 (平成19年9月30日現在)



## 株価・出来高の推移 (平成19年9月30日現在)



## 会社概要 (平成19年9月30日現在)

会社名	株式会社ソディック
所在地	本社 横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号 〒224-8522 TEL:045-942-3111(代表)
設立	昭和51年8月3日
資本金	207億7,575万6,958円
代表者	塩田成夫
従業員数	197人(連結3,525人) ※平成19年9月末現在
連結子会社	38社 ※平成19年9月末現在
営業品目	NC形彫り放電加工機/NCワイヤ放電加工機/NC細穴放電加工機/ 特殊放電加工機および専用機(パレットチェンジャ、ロボットなど)/ 数値制御電源装置/放電加工機専用治具/NC電極加工機/ ハイスピードミーリングセンタ/ナノ加工機/ 金型設計製作用CAD/CAMシステム/精密射出成形機/工業用セラミック/ 精密リニアプレスセンタ/産業機械向けリニアモータ/その他電気加工装置/ 電子部材/各種ソフトウェア/委託研究および製品開発/その他

## 役員 (平成19年9月30日現在)

代表取締役社長	塩田 成夫
専務取締役(生産物流本部担当)	山本 孝志
専務取締役(経営企画担当)	加藤 和夫
常務取締役(営業統括担当)	瀧 耕二
常務取締役(管理本部 兼 知的財産室担当)	藤原 克英
取締役(SA本部本部長)	佐野 定男
取締役(ソディック(廈門)日本カンパニー担当)	市川 剛志
取締役(アドバンスト研究本部本部長)	金子 雄二
取締役(財務部本部長)	河本 朋英
常勤監査役	楠 左衛治
常勤監査役	上野 朔生
監査役	下山 貞男
監査役	小山 秋吉
監査役	相原 正雄

※監査役のうち、下山貞男、小山秋吉及び相原正雄は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会/3月31日 期末配当金:3月31日 其他必要がある場合は、予め公告する一定の日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同送付先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711(通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
公告掲載方法	当社ホームページにおける電子公告

株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。  
●電話(通話料無料):0120-244-479(本店証券代行部) 0120-684-479(大阪証券代行部) ●インターネットホームページ: http://www.tr.mufg.jp/daikou/